

ユビキタス発電研究会へようこそ

はじめに

ユビキタス発電研究会(以下、本研究会)は、
「身の回りに遍在する微小なエネルギー(環境発電・EH)」を起点に、
未来の技術・社会・文明のあり方を、実験と対話を通じて探究する場です。

専門家だけでなく、

- ・電子工作が初めての方
 - ・理論よりも「触って考えたい」方
 - ・未来文明やエネルギーの話にワクワクする方
- も歓迎しています。

この研究会が大切にしている考え方

私たちは次のような問いを共有しています。

- ・なぜ現代文明は「巨大なエネルギー」に依存しているのか
- ・本当に必要なエネルギー量とはどれくらいなのか
- ・小さなエネルギーでも“意味のある仕事”はできないか

ここで扱う**環境発電(Energy Harvesting / EH)**とは、

太陽光、振動、温度差、磁気、電場など、

これまで「捨てられてきたエネルギー」を拾い上げる技術です。

本研究会では単なる電子工作や回路技術だけでなく、

その先にある「文明のかたち」まで視野に入れています。

- ・大量生産・大量消費の文明
- ・集中型エネルギーの文明
- ・常に成長を前提とする文明

とは異なる、小さく、分散し、共鳴しながら成り立つ文明

それを私たちは

「ユビキタスエネルギー文明」と呼んでいます。

ここでやっていること(具体例)

難しく聞こえるかもしれません、実際の活動はとても素朴です。

- ・小さなソーラーパネルでセンサーを動かす
- ・コイルや磁石を使って微弱な発電を試す
- ・コンデンサに溜まったエネルギーで一瞬だけ動作させる
- ・なぜ動いたのか、なぜ動かないのかを皆で考える

「うまくいかない実験」も大切な研究成果です。

ビギナーの方へ

この研究会では、

- ・知識量
- ・経験年数
- ・肩書き

は重要ではありません。

大切なのは

「なぜだろう?」と考える姿勢と
実際に手を動かしてみる好奇心です。

質問はいつでも歓迎です。

「こんなこと聞いていいのかな?」と思う疑問ほど、それはきっとあなたが最も
実は核心に近いことが多いのです。

最後に

ユビキタス発電研究会は、

正解を教える場ではなく、一緒に考え、試し、発見する場です。